

編集後記

早いもので、縁あって東北大学の助手として採用され仙台に来てから15年の月日が流れた。レーザー核融合の研究から、なぜかいきなり航空宇宙分野に入ったが、華麗な転身というわけにはいかず、未だに入り口付近で出たり入ったりを繰り返している気分がある。プラズマ・核融合学会には学生の頃に入会し、上記のような理由から一時は幽霊会員であったが、なんとなくまだ足の先ぐらいいは突っ込んでいて、約1年半前から編集委員を仰せつかっている。

出身は島根県の(今は)松江市で、大阪、仙台と東に移動してきた。卒業した小学校や中学校がすでに統廃合でなくなったような沿岸部の半農半漁の集落に生まれ、田舎育ちにはそれなりの自信があったが、仙台に来て驚いたことは、野生のクマやカモシカがいることである。サルやタヌキには驚かないが、クマを目撃した経験はないし、カモシカも見たことがなかった。

現在の自宅の前の畑には時折カモシカが現れ、畑の作物

をおいしそうに食べている。畑の主のためには追い払ってあげたほうが良いのだろうが、自分の畑ではないので、つい見守ってしまう。工学部のある青葉山キャンパスではクマの目撃情報が年に数回の頻度で届く。つい先日は、自宅の近所にクマが出没し、人を襲った。現在、小学生になる末の娘は集団で登下校を行っており、親としては気が気でない。先日、近所の理髪店に行った際の雑談で、仙台市は積極的に駆除しようとしてないみたいですね、と店主に不満を言ったら、かわいそうじゃないですか、と返された。そうか、こちらの人はそういう感覚なんだ、と今更ながら東北人に少し新鮮な思いを抱いた。

思えば、大阪よりもすでに5年も長く仙台に住んでおり、乱暴に喋るときに思わず出てしまうエセ関西弁が空々しく感じてくるようになった。とはいえ、出雲弁は誰にも通じず、仙台弁も得体が知れず、一体何弁で喋ると落ち着くものかと思案するこの頃である。(大西直文)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	小森 彰夫	副会長	吉田 善章(推薦委員長:学会賞,男女共同参画委員長)	白谷 正治(推薦委員長:研究助成)
常務理事	室賀 健夫(総務委員長)			
理 事	浅野 克彦(財務委員長)	浅野 史朗	上田 良夫(年会運営委員会プログラム委員長)	
	内野喜一郎(支部・地区研究連絡会委員長)	小野 靖(年会運営委員長)	岸本 泰明(研究部会連絡委員長)	
	草間 義紀	久保 博孝(広報委員長)	坂本 瑞樹	
	佐々木浩一(企画委員長)	白神 宏之	豊田 浩孝	
	長谷川 晃	波多野雄治(編集委員長)		
監 事	利根川 昭, 森田 純子			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 波多野雄治(富山大) 副委員長: 坂本瑞樹(筑波大)
エディタ: 金子俊郎(東北大), 坂本瑞樹(筑波大), 中村祐司(京大), 長友英夫(阪大), 小西哲之(京大), 酒井 道(滋賀県立大)
編集委員: 安堂正己(量研機構), 石野雅彦(量研機構), 稲垣 滋(九大), 伊庭野健造(阪大), 太田貴之(名城大), 大西直文(東北大), 小田昭紀(千葉工大), 小田卓司(ソウル国立大), 神吉隆司(海上保安大), 古閑一憲(九大), 齋藤和史(宇都宮大), 佐々木徹(長岡技科大), 佐藤雅彦(核融合研), 清水昭博(核融合研), 須田善行(豊橋技科大), 高橋裕己(核融合研), 高橋光俊(助川電気工業), 龍野智哉(電通大), 近田拓未(静岡大), 仲野友英(量研機構), 西塚直人(NICT), 比村治彦(京都工繊大), 村上朝之(成蹊大), 八木重郎(核融合研), 八柳祐一(静岡大), 柳 長門(核融合研), 余語覚文(阪大), 渡邊裕樹(首都大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第92巻第12号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2016年(平成28年)12月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。